

UVインキ

UV CORE TYPE-A W

『UV CORE TYPE-A W』は、近年普及が進んでいる省電力型UVシステム(オゾンレスUV・LED-UV)に対応した紫外線硬化型インキです。硬化性を重視したタイプであり、従来のUV印刷機に比べてUV照射能力が得られ難い省電力型UV印刷機においても、良好な乾燥性・耐摩擦性を得ることが出来ます。特に両面印刷時における吸引車擦れや後加工時の擦れに対し効果が期待できます。

■ 特徴

- ▶ 省電力型UVシステムでの硬化性が良好であり、乾燥性・耐摩擦性に優れております。
- ▶ 両面印刷時における吸引車擦れや後加工時の擦れに対し効果が期待できます。
- ▶ トラッピング性・網点再現性に優れております。
- ▶ 一般的な商業印刷物にご使用いただけます。
- ▶ 財団法人日本環境協会のエコマーク認証を得ております(一部製品を除く)。

■ 一般性状

	タック	フロー
UV CORE TYPE-A 黄 M W	4.5±0.2	40±2
UV CORE TYPE-A 紅 M W	5.0±0.2	38±2
UV CORE TYPE-A 藍 M W	6.0±0.2	37±2
UV CORE TYPE-A 墨 M W	6.0±0.2	38±2

* タック : インコメーター(水温:38°C、400rpm、1分値)

* フロー : スプレッドメーター(室温:25°C、1分後の拡がり直径[mm])

■ 使用上の注意

- ▶ 本インキを従来型UV照射機で使用すると脱墨性が低下しますので、省エネ型UVシステムで推奨されている硬化条件にてご使用下さい。
 - ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
 - ▶ 被印刷物へのインキ密着性は、材質や表面状態により異なります。予め密着性の確認のため予備試験を行なって下さい。
 - ▶ インキ盛り過ぎやランプ劣化により、硬化不良・密着不良の原因となります。ご注意ください。
 - ▶ 人体に影響ないように考慮して設計しておりますが、皮膚・衣類等にインキが付着したまま長時間放置いたしますと、人によってカブレを生じる場合があります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮下さい。
- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

- ▶ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けて下さい。皮膚に付着した場合には、汚染された衣服や靴等の汚れを落としたのち、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流して下さい。もし皮膚に炎症やかゆみを生じた場合は、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- ▶ インキ取り扱い時火気に注意し、作業場は換気を十分に行い、紫外線や直射日光を避けて取り扱いして下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように適切な保護具を着用願います。作業衣等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けて下さい。取り扱い後は手洗いとうがいを十分に行って下さい。



2022/2/15 No.1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。